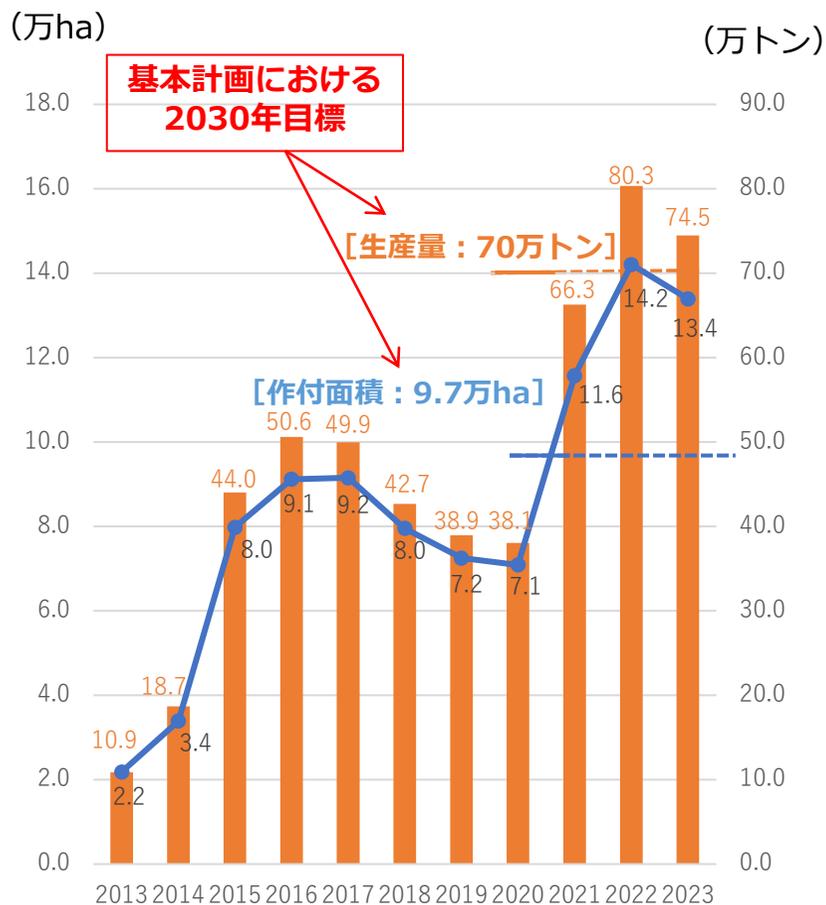


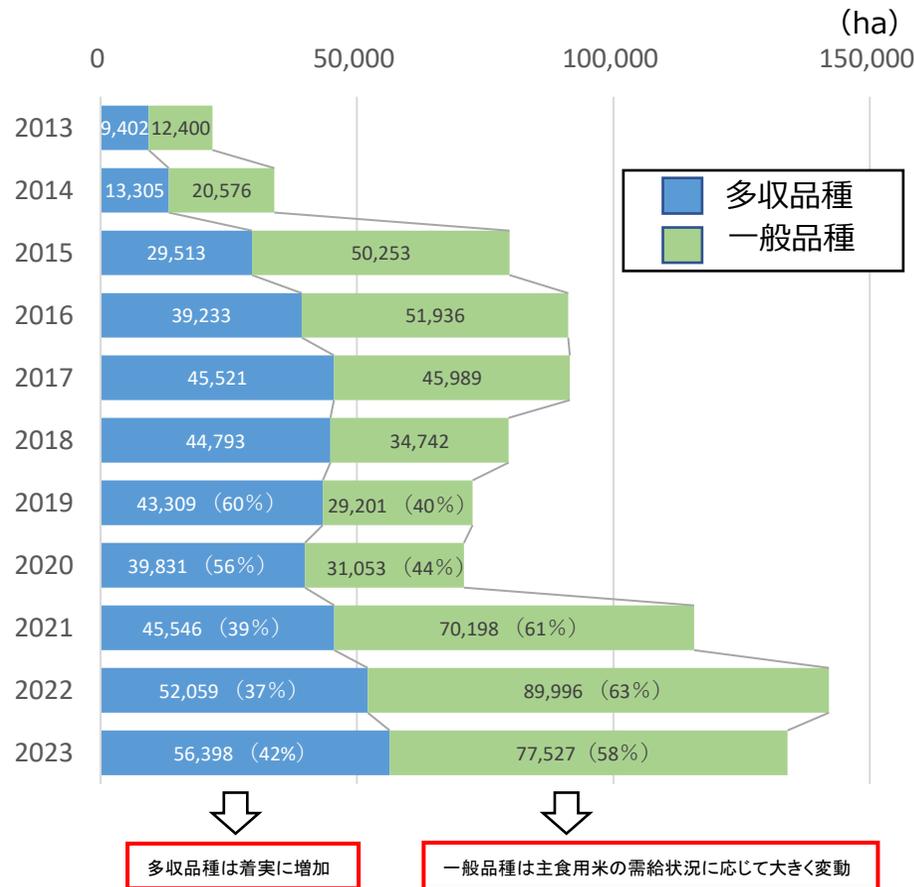
飼料用米の取組状況

- 令和5年（2023年）産の飼料用米作付面積は13.4万haとなり、過去最高となった令和4年（2022年）産から0.8万ha減少したものの、基本計画における2030年目標の作付面積9.7万haを上回る水準。
- 多収品種の取組は着実に増加してきているが、一般品種の取組は主食用米の需要状況に応じて大きく変動。

【飼料用米の作付・生産状況】



【飼料用米の多収品種・一般品種の作付割合】



■ 飼料用米生産量(万トン) ● 飼料用米作付面積(万ha)

出典：農林水産省調べ。

出典：農林水産省調べ。「多収品種」とは「国の委託試験等によって育成され、一般品種と比べて子実の収量が多いことが確認された品種」及び「一般的な品種と比べて子実の収量が多く、当該都道府県内でああ主として主食用以外の用途向けとして生産されているもので、全国的にも主要な主食用品種でないものうち、知事の申請に基づき地方農政局長等が認定した品種」である。

飼料用米の取組状況

- 令和5年（2023年）産の飼料用米作付面積は13.4万haとなり、過去最高となった令和4年（2022年）産から0.8万ha減少したものの、基本計画における令和12年（2030年）目標の作付面積9.7万haを上回る水準。
- また、飼料用米の生産の約5割が経営規模（全水稲の作付面積）が15ha以上の大規模農家により担われている。

【飼料用米の作付・生産状況】

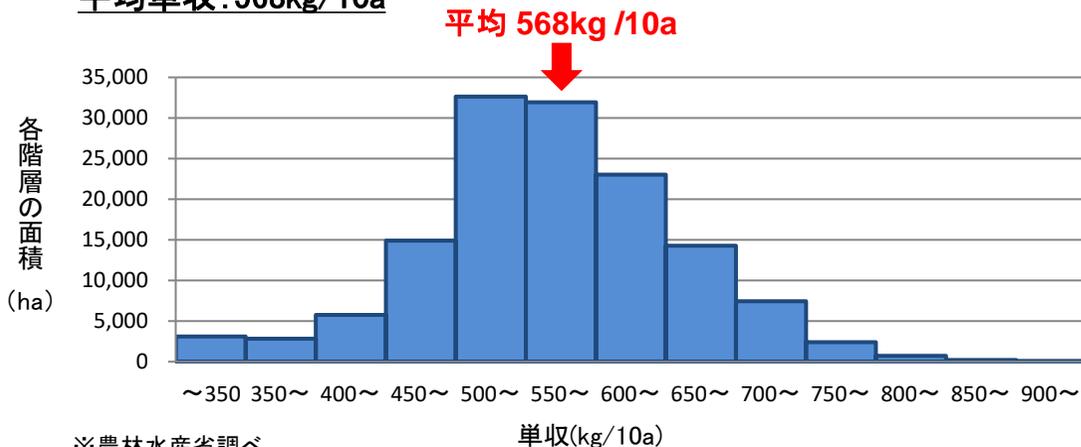
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
飼料用米作付面積（万ha）	3.4	8.0	9.1	9.2	8.0	7.3	7.1	11.6	14.2	13.4
うち、多収品種の作付面積（万ha）	1.3	3.0	3.9	4.6	4.5	4.3	4.0	4.6	5.2	5.6
割合	39%	37%	43%	50%	56%	60%	56%	39%	37%	42%
うち、区分管理の取組面積（万ha）	2.7	6.0	7.3	7.6	7.0	6.5	6.3	9.1	11.3	10.8
割合	80%	75%	80%	83%	88%	89%	89%	78%	80%	82%
飼料用米生産量（万トン）	19	44	51	50	43	39	38	66	80	74

注：「区分管理」とは、主食用米を生産する圃場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける手法で、主食用米と同一のほ場で飼料用米を生産する「一括管理」と比べて、多収品種の導入が容易で、飼料用米の定着が期待できる。

「飼料用米生産量」は、実際の収量を反映した実績値。

○ 飼料用米の単収分布（令和4年産）

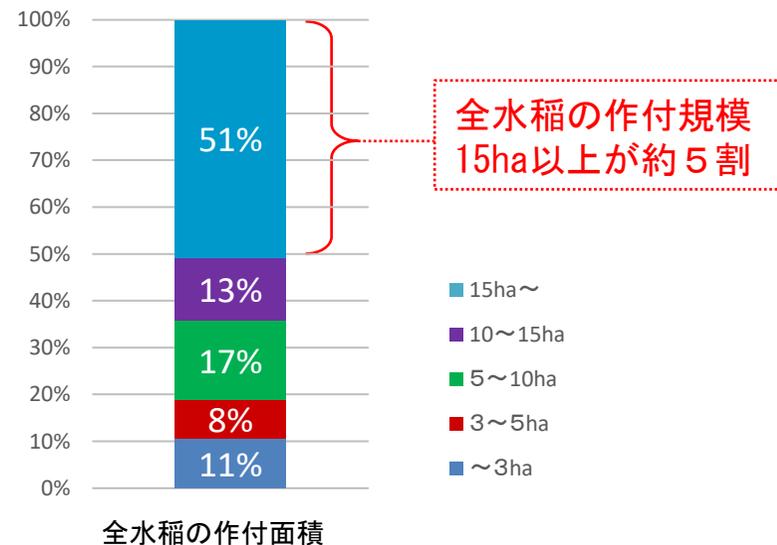
平均単収：568kg/10a



【参考】単収の推移

	H26年産	H27年産	H28年産	H29年産	H30年産	R元年産	R2年産	R3年産	R4年産
水稲平均単収 (kg/10a)	530	531	531	532	532	533	535	535	536
水稲平均単収	536	531	544	534	529	528	531	539	533
飼料用米平均単収	554	555	558	549	538	539	539	575	568

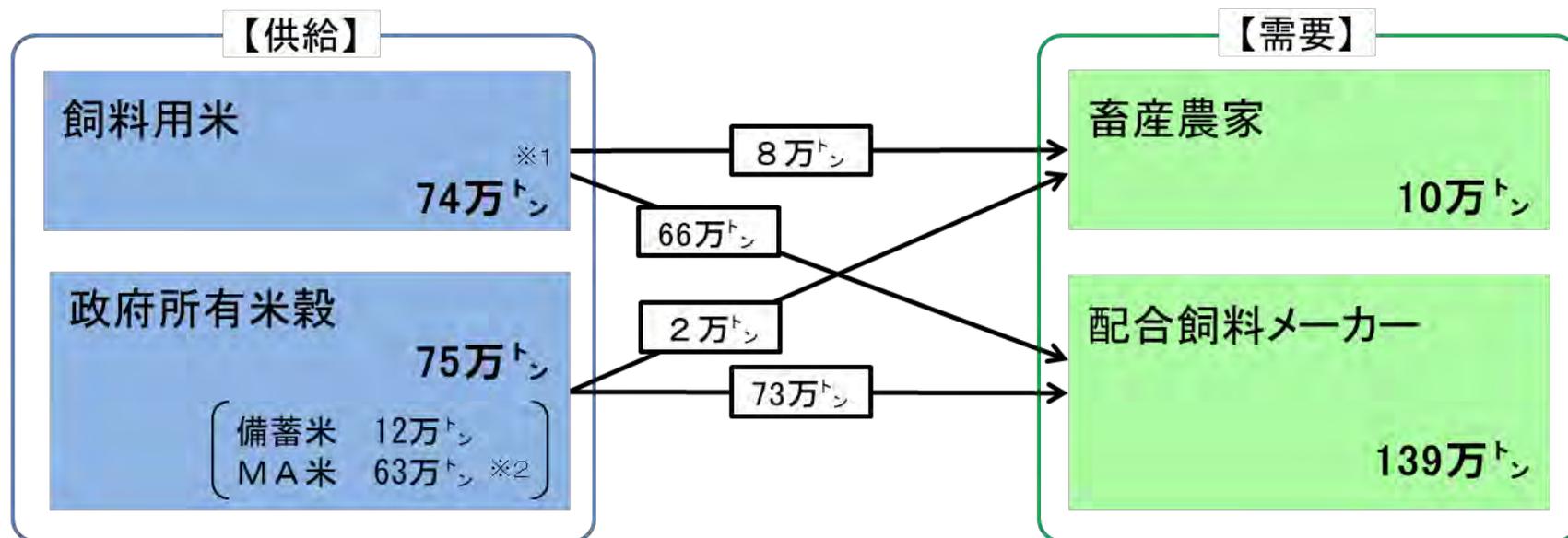
○ 飼料用米生産者の経営規模（全水稲の作付面積）別分布状況（令和4年産）



飼料用米の供給状況

- 現状、飼料用に150万トンの米が畜産農家・配合飼料メーカーに供給されているところ。

米の飼料用としての供給量(令和5年度)



※1 令和5年産の生産量

※2 数量は実トンベース

注 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【今後の課題】

- 配合飼料の主原料であるとうもろこしと同等、またはそれ以下の価格での供給が必要。
- 飼料工場毎の施設規模や配合設計・計画に見合う安定的な供給が必要。(短期・大量の受け入れは不可)
- その他、飼料用米の集荷・流通・保管施設や直接供給体制の構築等の集荷・調製等に伴うコスト削減等の体制整備が必要。

令和5年産飼料用米の出荷方式、品種別面積

単位: ha

	作付面積	出荷方式別面積				飼料用米の品種別面積			
		一括管理	割合	区分管理	割合	一般品種	割合	多収品種	割合
北海道	6,788	740	11%	6,048	89%	1,657	24%	5,131	76%
青森	7,930	101	1%	7,830	99%	1,630	21%	6,301	79%
岩手	5,739	437	8%	5,301	92%	1,205	21%	4,534	79%
宮城	9,801	991	10%	8,810	90%	8,660	88%	1,141	12%
秋田	4,265	1,480	35%	2,785	65%	2,740	64%	1,525	36%
山形	5,138	854	17%	4,284	83%	1,215	24%	3,923	76%
福島	11,722	3,716	32%	8,006	68%	9,181	78%	2,541	22%
茨城	13,886	1,760	13%	12,126	87%	9,395	68%	4,491	32%
栃木	15,069	107	1%	14,962	99%	14,538	96%	531	4%
群馬	1,661	603	36%	1,058	64%	1,585	95%	76	5%
埼玉	3,605	1,697	47%	1,908	53%	2,829	78%	776	22%
千葉	10,154	3,661	36%	6,492	64%	5,207	51%	4,946	49%
東京	0								
神奈川	13	12	92%	1	8%	12	92%	1	8%
新潟	4,032	1,576	39%	2,456	61%	2,062	51%	1,970	49%
富山	2,096	177	8%	1,919	92%	1,189	57%	907	43%
石川	1,131	125	11%	1,006	89%	738	65%	393	35%
福井	1,976	256	13%	1,720	87%	834	42%	1,142	58%
山梨	21	4	20%	17	80%	8	38%	13	62%
長野	429	224	52%	205	48%	239	56%	189	44%
岐阜	3,496	1,598	46%	1,898	54%	2,383	68%	1,114	32%
静岡	1,011	22	2%	989	98%	338	33%	674	67%
愛知	2,040	1,399	69%	640	31%	1,787	88%	253	12%
三重	2,426	234	10%	2,192	90%	1,345	55%	1,081	45%

	作付面積	出荷方式別面積				飼料用米の品種別面積			
		一括管理	割合	区分管理	割合	一般品種	割合	多収品種	割合
滋賀	2,033	311	15%	1,722	85%	1,211	60%	822	40%
京都	133	1	1%	132	99%	41	30%	92	70%
大阪	6	6	100%	0	0%	6	100%	0	0%
兵庫	819	8	1%	811	99%	277	34%	542	66%
奈良	50	11	22%	39	78%	42	85%	8	15%
和歌山	3	1	37%	2	63%	1	37%	2	63%
鳥取	821	0	0%	821	100%	18	2%	804	98%
島根	804	0	0%	804	100%	86	11%	718	89%
岡山	1,824	738	40%	1,086	60%	1,184	65%	640	35%
広島	443	24	5%	420	95%	164	37%	279	63%
山口	1,108	0	0%	1,108	100%	282	25%	826	75%
徳島	1,007	564	56%	443	44%	639	63%	368	37%
香川	195	20	10%	175	90%	101	52%	94	48%
愛媛	344	68	20%	276	80%	131	38%	213	62%
高知	1,135	149	13%	986	87%	930	82%	205	18%
福岡	2,475	0	0%	2,475	100%	1	0%	2,474	100%
佐賀	829	0	0%	829	100%	159	19%	671	81%
長崎	117	8	7%	109	93%	56	48%	61	52%
熊本	1,646	25	1%	1,622	99%	304	18%	1,342	82%
大分	1,932	0	0%	1,932	100%	252	13%	1,680	87%
宮崎	887	9	1%	879	99%	336	38%	551	62%
鹿児島	880	118	13%	762	87%	527	60%	353	40%
沖縄	3	3	100%	0	0%	3	100%	0	0%
合計	133,925	23,838	18%	110,086	82%	77,527	58%	56,398	42%

資料：農林水産省調べ

注1：東京都では飼料用米の作付けはない。

注2：「一括管理」とは主食用米と同一のほ場で飼料用米を生産する管理方法であり、「区分管理」とは主食用米を生産するほ場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける管理方法である。

注3：「多収品種」とは「国の委託試験等によって育成され、一般品種と比べ子実の収量が多いことが確認された品種」及び「各都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が認定した品種（知事特認品種）」である。